

令和元年度第3回和光市男女共同参画推進審議会要旨

日時：令和2年1月10日(金)

午前10時から11時30分

場所：和光市役所6階603会議室

出席者： 長田真希委員、諸橋泰樹委員、大澤絵里委員、栗原真知子委員、富澤幸男委員、
金澤勇一委員、足立枝実子委員、砂永健二委員、並木芳則委員、熊澤彩子委員

欠席者： 浜口武委員、小林京子委員

事務局： 亀井課長、渡部課長補佐、青木主査

会議の開会に先立ち、資料の確認を行います。まず、本日の資料として事前に送付させて
いただいている資料は、

- (1) 次第
- (2) 資料1 平成30年度和光市男女共同参画年次報告書(和光市の概況)差し替えに
ついて
- (3) 資料2 平成30年度和光市男女共同参画推進審議会答申書(素案)
- (4) 資料3 和光市男女共同参画に関する意識調査報告書(速報版)

を配付しております。また栗原委員からの情報提供で、制服の自由という新聞記事を皆様
の机の上に置かせていただいていますので、そちらもご覧いただけたらと思います。資料に
不足のある方は、挙手をお願いします。

1 開会

本日は、お忙しい中、委員の皆様にはご出席をいただき、誠にありがとうございます。

ただいまから、「令和元年度第3回和光市男女共同参画推進審議会」を開催いたします。

この審議会につきましては、和光市市民参加条例第12条第4項の規定により、原則公開
となっております。また、会議後には、会議録を作成し、公開してまいります。その際、
記録については、要点記録とし、各委員のご意見、ご発言については、委員名を明記した
上での議事録とし、ホームページにて公表させていただきますので、ご了承いただきた
いと思います。よろしいでしょうか。

なお、本日の会議録作成のため、録音をさせていただいておりますが、会議録作成後消
去いたします。

それでは、次第の順に進めたいと思います。

次第2挨拶に入ります。総務人権課亀井課長よろしくをお願いします。

2 挨拶

皆様、おはようございます。

本日はお忙しい中、令和元年度第3回男女共同参画推進審議会にご出席いただきまして
ありがとうございます。

本日は、第2回審議会でご討議していただいたご意見を元に答申書素案としてまとめた

いと思いますので、よろしく願いいたします。

今年、2020年、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、和光市は射撃競技の会場となり、多様な方が世界中から訪れます。市民や様々な団体がおもてなしや記念イベント等も行う予定であります。皆様とまとめた答申書を市長に提言することで、市民や団体、事業者などに対し、啓発活動や取り組みを促し、多様な性への理解を深める行動に繋がりたいと考えております。

本日は任期期間最後の会議となりますが、皆様にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

3 議題

事務局

それでは、議事に進みたいと思います。

ここからは和光市男女共同参画推進条例第21条第1項の規定により、長田会長に進行をお願いしたいと思います。

長田会長

それでは、ただいまから、令和元年度第3回和光市男女共同参画推進審議会を開会いたします。

和光市男女共同参画推進条例第21条第2項の規定に基づき、和光市男女共同参画推進審議会の委員の定数は、12名となっており、その半数である6名以上の出席が会議の成立要件となります。本日の出席状況について、事務局から報告願います。

事務局

本日の出席は10名です。なお、浜口委員、小林委員からは、本日欠席のご連絡をいただいています。

長田会長

ただいまの報告により、出席者は半数以上となっておりますので、審議会は成立しております。

長田会長

それでは、議題に入りたいと思います。

まずはじめに、議題(1)「平成30年度和光市男女共同参画年次報告書(和光市の概況)の訂正について」です。事務局から説明をお願いします。

会議要旨

事務局	第2回会議で配付した資料に訂正がありますので、本日配付しました資料1をご覧ください。訂正が4点あります。年次報告書の訂正箇所につきましては、第2回会議配付資料と差し替えていただけますようお願いいたします。 1点目は、年次報告書(和光市の概況)の8ページにある「DV相談件数」の図表についてです。 図表14の表の件数について、第2回会議において、件数の表記がわかりにく
-----	---

	<p>いとご指摘をいただきましたので、資料にありますように「延べ件数（実人数）」に修正いたしました。また、平成 28～30 年度の延べ総数も前回訂正がありましたので、併せて訂正しております。</p> <p>2 点目は、年次報告書（和光市の概況）16 ページにある、「健康・福祉」におけるグラフの追加です。</p> <p>第 2 回会議において、図表について、全国の年次推移だけでなく、和光市または埼玉県推移がわかるようにしてほしいというご意見をいただきました。</p> <p>エイズ動向委員会報告に、報告地別の全国の推移が掲載されていまして、埼玉県と近隣県の数値の推移を示すグラフを 2 点追加したものが、図表 29 となっております。また、図表 29 の説明文を追加しました。</p> <p>3 点目は、年次報告書（和光市の概況）18 ページにある社会参画の状況を示した「和光市審議会等の状況」の表の追加です。</p> <p>第 2 回会議において、市の審議会等の男女委員構成を示すことで、女性委員がない審議会の有無がわかるよう工夫してほしいというご意見がありましたので、表を追加しました。</p> <p>4 点目は、年次報告書（和光市の概況）22 ページにある職員における子育て制度等の利用状況において、「介護休暇、介護を理由に退職した数」の数値を表に追加しました。</p> <p>昨年の審議会の答申書において、「子育て制度の状況だけでなく、介護制度の状況についても、次年度から年次報告書に記載すること」とありましたが、反映されておりませんでしたので、22 ページに数値の追加と 23 ページに説明文を追加しました。以上です。</p>
長田会長	ありがとうございます。それでは質疑に入ります。質問等ございますか。
諸橋副会長	都市計画審議会は 0 人、防災や国民保護になると共に女性議員が少ないですね。専門の分野になるからでしょうか。ヘルスソーシャルキャピタル審議会は休眠状態ですか。
事務局	平成 30 年 4 月 1 日時点では、任期が定められていませんでした。
諸橋副会長	HIV と AIDS に関しては埼玉県が入りましたが、大澤さんこれでいいでしょうか。東京が断トツなんですね。
大澤委員	はい。やはり東京は医療機関が多いので、報告地となると断然多くなります。
諸橋副会長	年次報告書 19 ページ、ジェンダーギャップ指数が新しいものが出ましたがどうしますか。差し替えますか。一昨年そのまま掲載しますか。
事務局	この報告が平成 30 年度のものになるので、最新の順位が落ちてしまいました。来年のものはまた新しく掲載します。
長田会長	<p>質問などないようでしたら、次に進みたいと思います。また何かありましたら、事務局に伝えていただけたらと思いますのでお願いいたします。</p> <p>続きまして、議題（2）「令和元年度答申書（素案）について」に移ります。</p> <p>本日の会議で答申書素案をまとめたいて考えておりますので、皆様活発なご意見をよろしくお願いいたします。それでは事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、答申書（素案）につきまして、資料 2 をご覧ください。</p> <p>この素案につきまして、補足説明させていただきます。</p>

答申は、今年度の審議内容の取りまとめとして、また、市が男女共同参画に関する施策を進める上での提言をまとめたものを、答申書として市長に提出するものです。

答申書素案は、2部構成としております。

1つ目は、第2回審議会でご審議いただいた和光市の概況について、第1回審議会でご審議いただいたわこうプランにおける市役所各課の取組状況についてをまとめた、毎年作成している年次報告書について、皆さまからご意見をいただいた部分を提言としてまとめたものです。

2つ目は、本年度のテーマとして、「多様な性について考える」というテーマでご審議いただきましたので、その中で、皆さまから頂きましたご意見などをもとに、今後の男女共同参画の施策を推進するにあたっての提言としてまとめたものです。

本日は、素案として皆さまにお示しいたしますので、ご審議いただければと思います。

それでは、内容について、若干触れていきたいと思っております。

1つ目の年次報告書についての提言ですが、この部分は、先ほど青木から説明させていただいたものがほとんどになります。

(1)のDVについては、DV相談件数の表の表記がわかりにくいというご意見をいただきましたので、わかりやすく表記することを提言として挙げております。これに基づきまして、その対応として、先ほど、修正をさせていただきました。

(2)の一時保育等の利用状況についてですが、ご意見として、一時保育の利用が減少しているのは、一時利用自体の枠が減少しているのか、その理由がわかる表記にしてほしいというご意見がありましたので、そのことを提言として、記載いたしました。担当所管課と協議し、利用枠などは減少していない状況の中で、利用したくても一時保育を利用できないという声もありますので、その辺りの因果関係が明確になっていないということもあわせて、引き続き調査して、来年度以降の年次報告書の記載を考えたいと思っております。

(3)のHIV、AIDSについては、全国の推移を掲載しておりましたが、和光市や埼玉県の状態を載せるほうが実情に近いのではないかという意見をいただきましたので、その部分を提言として挙げております。その対応としましては、先ほど、埼玉県の推移がわかるグラフに修正をさせていただきました。

(4)の審議会における委員状況については、どの審議会が女性委員が少ないかわかる方がよいというご意見をいただきましたので、各審議会の委員構成を載せることで女性委員がいない審議会がわかるようにすることという提言を挙げております。これに基づきまして、その対応として、先ほど、修正をさせていただきました。

以上が、年次報告書についての提言の内容となります。

次に、2つ目の本年度のテーマ、「多様な性について考える」というテーマについての皆さまのご意見から、提言とした部分をご説明いたします。

(1)については、「LGBTなどの性的少数者は、社会に存在しないのではなく、その存在が見えていないだけである。市では、性的少数者に関する啓発活動を行い、市民・職員の理解を促進していくことが大切である。」としました。まず

	<p>は、知っていただくために、更なる啓発活動が必要であるとの考えから、一番初めの提言としました。</p> <p>(2) については、「今回、要望書等が提出されたことを契機に、レインボーさいたまの会などの関係者の方等を講師とした研修、市民講座などを実施することを検討できないか。それら当事者の方と接する機会を設けることで、多様な性についての理解が進んでいくものとする。」としました。啓発活動の一環として、市民講座の実施などを提言したものです。</p> <p>(3) については、「今回提出された要望書については、現状における当事者における諸問題を解決するヒントになっている。市としても、できるところから応じていくことが望ましい。」としました。第2回審議会で資料として配布した要望書ですが、可能な取組から進めていくことで、LGBTなど性的少数者の方に配慮した社会になるものと考えております。</p> <p>(4) については、「市内の大手企業においては自社研修などにより社員の教育・認識の向上が図られているものの、それ以外の多くの店舗・事業所においては、認識や理解が不足している部分があると思われる。商工会等と連携を図りながら、市内企業への啓発活動を促進することも大切である。」としました。多くの市内の中小企業に、いかに啓発を進めていくかが課題であると考えております。</p> <p>(5) については、「学校教育においては、教諭等の研修会等を積極的に行っており、該当する児童・生徒に対しては個々に応じた丁寧な対応を図っていただいているものと理解している。引き続き、いじめやからかいを防ぐために、「一人一人が違っていい」ことを子どもをはじめ、親や地域、学校など共通の理解の下で、認識を広めていただきたい。」としました。学校現場においてはすでに個々にご対応いただいていることがわかりました。引き続き、丁寧な対応を図っていただきたいとの考えから加えました。</p> <p>(6) については、「公共施設を新設、改修等する場合は、LGBTなどの性的少数者の方も利用しやすい多目的トイレの設置を検討していただきたい。」としました。性的少数者の方でも利用しやすい環境が作れるのではないかと考えております。</p> <p>以上が、素案の内容でございます。</p> <p>本日は、この素案についてご審議いただき、修正や追加などがあればご意見を伺いたいと思います。説明は、以上です。</p>
長田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>答申書の素案について、1と2の2つに分かれておりますので、それぞれについて確認していきたいと思っております。</p> <p>まず、1の年次報告書の記載について、何かご意見があればお願い致します。</p> <p>この点については、先ほど事務局から訂正を入れていただいておりますので、その他全体的な内容で何かあれば、併せてお願い致します。</p>
大澤委員	<p>(3)の「HIV感染者数、AIDS患者数の推移」なのですが、答申書の中には和光市という言葉は入れなくてもいいかなと思います。いろいろ計画を練ったりする分には、見れるデータはあるかと思うのですが、30年度の報告書で出していくというのは、人権の問題もありますし、なかなか厳しいのかなと。すごく狭いエリ</p>

	アで、居たとしても多分数名だと思うので、答申書には和光市とは入れなくてもいいのではと思います。
長田会長	ありがとうございました。この部分は削除したほうがいいですか。
大澤委員	はい。埼玉県というところはまだ出ているのでいいと思います。
諸橋副会長	年次報告書の記載の仕方での提言ですよね。例えば、女性の委員が0のところは努力するというような具体的なことは入れなくてもいいのでしょうか。 「女性委員がない審議会を減らすように努めること」や「2割以下のところは3割以上になるように努めること」とか。(1)のDVも表記だけではなく、減らしていくために、ということでもいいのではないかなと思います。 そうすると1のタイトルを変えなくてはいけませんね。
長田会長	記載を削除して、「年次報告書について、次のとおり提言します」にしましょうか。
諸橋副会長	そうですね。(1)は減らしましょう、(4)は増やしましょうということですね。(2)については今後調査が必要ということでしたので。
大澤委員	そうすると、それ以外のところでも、今回、図を変えたというところを主に挙げていますが、これ以外でも提言できるのではないのでしょうか。
諸橋副会長	記載だけにとどめてもいいですが、せっかくデータもあるので、そこまで広げるかどうかというところですね。
長田会長	今までの会議の中で、表がなかったものとか、数字がわからなかったものについて出してくださいという形でお願いして事務局が出してくださったのですが、その数字を見て、こうしたほうがいいというのが生まれてくると思うので、その事について提言を入れたほうがいいのかなと思います。先ほど諸橋先生がおっしゃったように、女性の委員の数が見えてきたので、少ないところはもう少し増やす努力をしてもらおう、そういうことが必要ですよ。
諸橋副会長	「待機児童を減らす努力すること」というのは欲しいところですね。保育サポート課の表を見ると少し減ってはいるようですが。
長田会長	審議会の女性の委員の割合ですが、数値目標としては、わこうプランの中に、32年度までに50%を目指したいというのがそもそもあったので、この数字になるべく近づけるように、各審議会・委員会が努力をしていただくというのも必要だと思います。
栗原委員	審議会の委員選出も団体任せじゃなくて、全体のバランスを考えてこういう風にしてもらいたいという1押し2押しをする上でここは改善できるのではないかなと思います。「できれば女性を出していただきたい」というニュアンスですとか、「今は女性が多いので男性の意見も聞きたいと思います。」とかその辺を担当課から他の部署にも発信していただいて、通知を送るだけでなく、アフターフォローしていただくことが、一つの方策かなと思います。 もう一つ、男性とか女性とかではない方向性を目指しているのであれば、男性・女性・第3の選択肢、もっと広い範囲から記載があってもいいのかなと思いました。こちらの委員会が目指すものがそれであれば、男性と女性を2分しない方がいいのかなとも思いますが、いかがでしょうか。
諸橋副会長	それは審議会の記載の仕方についてですか？

栗原委員	はい、こちらの審議会から発信する内容として必要なと思います。
諸橋副会長	<p>同感ですね。ジェンダー統計の問題もありますが、今や性別欄が男女別だけでなく、あなたの思う性を記載するようになっており、前にもお話ししましたが、アメリカの Facebook は 56 の性別欄があります。世論調査泣かせで、男女別の統計が取れない状況なんです。一方で、女性の数が少ないということ、何かしらの形で出していかねばならないということで、男女二分法を無くしていくという世界的な流れとともに、女性がまだマイノリティ扱いを受けているということでは、男女別統計というのは必要なんですね。審議会等も、男女・第三の性というような欄を設けるか、難しいところですね。</p> <p>当面、男女共同参画ですから、男女の枠は出さざるえないですね。</p>
長田会長	今回の提言に載せる女性委員のところについてはどうでしょうか。今のところは女性の委員ということでよろしいでしょうか。
諸橋副会長	そうですね。ただ目標 5 割と言っていたのですから、そこは明示しておいたほうが良いと思います。
長田会長	<p>では、審議会等の女性の委員の割合については、「5 割の目標に近づくような呼びかけなどをする」、ということでもよろしいでしょうか。そこは、追加していただきたいと思います。</p> <p>ここに書いてある事以外のことで、何かありますか。</p> <p>待機児童を減らす努力をするということは、引き続き書いていった方がよいと思います。待機児童は減ってはいるけれども、和光市には、まだまだ働きたいお母さんが多いようです。その数は潜在的で、保育園に預けられれば働きたいと思っている方が多いと聞くので、ここに出てこない数が相当隠れているような気がします。引き続き待機児童の問題は努力していただいて、なるべく減っていく方向にしたいですね。</p>
諸橋副会長	そうすると凶表もまた上がってくるかもしれませんね。
長田会長	小さいお子様の保育については、提言をしてきたので、それが施策に反映されて、小規模保育園の数も増えて、充実したものになっているようですが、まだまだ足りていないということですね。
栗原委員	保育園は割とデータが上がってきていて掴みやすいのですが、その先の学童保育がどこも定員オーバーの状態なんです。多いところは 4 割増しくらいで、新しい施設が急遽建っているような話も入ってきている中で、この先の学童保育についても、定員オーバーや待機児童が出ないような施策を進めてほしいというのが市民の要望でもあると思いますので、お考えいただけたらと思います。
諸橋副会長	データには放課後の学童のことはないのでですか。欲しいですかね。
栗原委員	<p>ないです。市内に 12 か所学童があり、11 か所は社会福祉協議会、1 か所はワークスコープが受けています。一時期、教育部局に学童が移ったことがあったのですが、またこども福祉部局に戻ってきているので、おそらく保育園に関わっている部署と学童保育に関わっている部署は、それほど市役所の中では変わらないと思います。</p> <p>保育園は話題にも上りやすいし目にも見えやすいんですが、実はその先の学童で、新 1 年生が入ってくると 3 年生は入れない、4 年生なんてとんでもない、と</p>

	<p>いう実態が出てきているんです。放課後保育に欠ける子どもがいるにも関わらず、学童は定員オーバーで泣きを見なければならぬご家庭のお話も聞こえてくるので、受け入れを増やすか他の施策をするかというところで、わこうっこクラブというのが児童対策にあるんですが、時間的に短いとか色々な課題がある中で、就学した子の放課後の受け皿についてどういった手立てを考えていかなければならないのかというのは共有できたらなと思いました。</p>
金澤委員	<p>子ども子育て支援会議というのがありまして、そこで協議されています。学童に関して私のいる第5小学校は、学童もできてわこうっこもできました。そのおかげで入れなかった待機児童がかなり余裕があって入っています。今年度北原小にもまた1つ作るそうです。ぜひ、そのような会議と連携をとれるといいのかなと思います。2年計画で全校にわこうっこを開設するというような計画もあり、少しずつよくなってきています。5小で言えばかなり良くなっています。ただ、学校としては3か所プラスわこうっこ連携しなければならないので、1年生は4月当初に、あなたはどこに行くかと振り分けるのがすごく大変でしたけど、それでも今やもう普通になっています。</p>
諸橋副会長	<p>放課後子ども教室は学校教育課ですか。</p>
金澤委員	<p>わこうっこクラブは生涯学習課です。</p>
富澤委員	<p>いずれにしろ前に進んでいるのは事実なんです。ただ、満足度はまだまだ足りないですね。</p>
諸橋副会長	<p>年次報告にデータがあったのでしょうか。</p>
金澤委員	<p>わこうっこは、昨年はできていなかったもので、1年生の7~8割は学童希望で、3、4年生は入れなく、または定員オーバーに近い学童ばかりだったんですが、今年度からはかなり余裕ができています。校庭でも3つの学童と一緒に遊んでいたりと、にぎやかにやっています。データも福祉の関係でお持ちだと思います。</p>
長田会長	<p>取り組みの中に、「保育施設・児童センター、学童保育クラブの充実」とありますが、これが学童にあたりますか？</p> <p>基本目標3の男女が共にいきいきと暮らせる環境づくりの施策①子育て支援サービスの充実3-1-1-3というところで、評価が2になっていますね。</p>
諸橋副会長	<p>データがあれば、保育園の下あたりに入れてもらうといいですね。</p> <p>放課後保育クラブ、そちらの拡充もというのをに入れておいてもらえたらいいでしょうか。</p>
長田会長	<p>保育園が増えた分、お子さんはそのまま学校に上がって学童が必要ということに繋がっていくので、そこもきちんとしていただけるように提言に入れていきたいと思っています。他にありますか。</p>
大澤委員	<p>DVのところで、相談件数が増えていると報告書ではなっていますが、件数が増えることってそんなに悪いことではないのかなと。相談場所があって周知されていけば、今まで声が出せなかった人を拾っている意味の数かもしれないので、単純にここで減らすという提案よりも、相談窓口をきっちり周知しながら相談を受け入れて、DVを解決できたというところは増やすとか、そういう風に今後データを出せるといいのかなと思います。</p>

諸橋副会長	<p>相談件数を減らすというより、DVを減らすということですよね。解決のデータはなかなかでないですからね。表記の上で工夫をしてもらって、DVを減らす活動は引き続きしてくださいということです。</p>
長田会長	<p>他になければ、2番に移りたいと思います。</p> <p>答申書(素案)の2です。本年度の審議会の検討テーマは、「多様な性について考える」というものでした。第1回目ではDVDを視聴していただき、また、第2回目では、皆様から活発なご意見をいただいてまとめていただいたのですが、これを元にして市がこれから施策を考えたりとか、取り組みを進めるものになっていく提言となりますので、活発なご意見をお願いします。表記の仕方とかこの部分が足りないとかあれば、ぜひ出していただけたらと思います。</p>
栗原委員	<p>6番の公共施設のトイレについて発言させていただいたのですが、広沢の児童館が9月に閉館して、広沢地区の大規模施設が建設に入って、その中にはプールだとかお風呂とかを作るという計画があると聞いております。</p> <p>市民プールとして使う場合に、男性更衣室・女性更衣室だけでいいのかなと思いました。トイレと同様に、多様な性を感じていらっしゃる方々が、自分が着替えをするときに安心して着替えていただけるような場所というのが必要なのではないかと思いました。</p> <p>プールの中に入ってしまうと、混ざって泳いだり歩いたりしているのでそれはいいのですが、そこに至るまで、外から入ってきて支度をしてプールに行くまでの途中も安心感があるよう考えていただけたらいいのではないかなと思いました。</p> <p>あともう1点、昨年10月に台風19号で和光市では避難勧告指示がでて、避難した方々が公共施設でしばらく生活されたという話を聞きました。大規模災害時の性的少数者や女性の保護ということも今後は必要になってくるのではないかなと思います。危機管理室と社会福祉協議会とで、防災や災害対策などについて、いろいろ協力体制を進めていこうということ聞いておりますので、やはり性的少数者や女性というのは集団になったときにまだ弱い立場として見なければならぬ実情が、この国ではあるように思います。各地の大規模災害で避難してきた女性が、いろいろ辛い目にあったり、洗濯物で困難を生じていたりするといった報道もされていたりする中で、大規模災害発生時の対応についても、1項目入れてもいいのかなと思いました。</p>
諸橋副会長	<p>6は多目的トイレだけじゃなくて、更衣室の設置の検討も加えてもらいましょうか。</p> <p>それから新しく7で起こしましょうか、大規模災害時の女性の方や性的マイノリティの方のというように。実際に台風で避難されたこともありましたのでというような一言も入れておいた方がいいでしょうか。事例も入れて。今後自然災害が増えるかもしれないですね。</p>
富澤委員	<p>少し補足させていただくと、19号の台風で、市内で避難された3世帯につきましては、12月9日にすべて別の住居に移られました。それまでは、総合福祉会館の3階に一時避難をしておりました。どんな生活をしているのかなということですが、お風呂は総合福祉会館のもの、食事の提供は、昼食は社会福祉協議会から、</p>

	<p>朝食と夕食は市からのサポート、洗濯は自らがコインランドリーでやってくださいと。性的弱者がいた場合はどうするか。この場合はまだ議論していません。オリパラが今度ありますが、和光市の駅に1か所しか多目的トイレがないんです。市役所や社協にはあります。もし、ハンディキャップをもった人たちが、駅を降りてトイレに行くときに、1か所しかないんです。それが現状です。ですから、そのようなところでインフラが整っていないんです。</p> <p>少数をすべて満足のいくような形にするのは、いずれにしてもお金の問題もありますからそこを賄うか、方向づけとしては和光市も細かなところで目をつけよう、という方向ではいってますね。</p> <p>自然災害というのはありがたくも和光市は少ないです。一番危ないなというのが白子川、荒川、新河岸川の水害が予測されるんですが、そんなに大きな被害は今のところなさそうだなというのが予想ですね。崖崩れというのはどうしてもやむを得ない、今回避難された方も崖崩れで、いろいろな権利関係が複雑で、崖崩れをした道路で封鎖されたのが私道で、従って、あくまで私物ですので市としては介入できない、災害にあった方は避難せざるを得ない特殊なレアケースでした。</p> <p>少数の意見は大切にしないといけない、それを全面的に出していいのかどうかというのは少しご検討いただければということです。</p>
諸橋副会長	<p>7番として、災害時の避難の際の女性の保護と性的マイノリティのことを考えるということですね。実際には、授乳しやすい場所の確保や着替えの問題、生理用品や下着を配るときに男性が配ったとかありますからね。細かい配慮などを入れられるといいですね。これは事務局で少し見ていただければと思います。</p> <p>ついでに5のところ、今日いただいた制服の資料で、市立の学校でこのような制服の導入の検討をしてもらったらどうかということで、和光市はまだやっていないのでしょうか。男女共通など性別関係なく着れる制服等どうなんでしょう。</p>
金澤委員	<p>具体的にはまだです。和光市の中学校の制服は全部共通です。例えば、大和中学校から第二中学校へ転校があってもそのまま使えたり、卒業した子の制服を下の子が着る等できるように、そのような面で配慮されています。ですので、まだ具体的な男女のところまでは話されていません。昔ながらの学ランとセーラー服ですので、そういう面では数十年代のものなのかなのとは思っています。</p>
諸橋副会長	<p>制服の検討を入れますか。認識を広めるぐらいですかね。</p>
栗原委員	<p>私は、中学3年の秋に、札幌から和光に転校してきたんですけど、札幌の中学の時は、スカートとスラックスがあって、校外学習の時には制服の上着とスラックスでという記憶があります。和光市は、冬場暖かいということもあって、特にスラックスが必要ではなかったのかなと当時の私は理解していたのですが、年代関係なく、動きやすさを考えたらパンツ類のほうが女の子も活動しやすいのではないかなと思いました。</p> <p>冬場にスキー林間学校がある時には、最初からジャージで行くのかなと思うのですが、ジャージは男女別ではなく一律になっているので、残るはこの制服、選べる要素を増やすというのは今後の社会情勢やこの審議会の目指すところとしては必要なのではないかなと思いました。</p>

長田会長	お子さんたちはどう思っているかですよね。聞いてみたいですね。
諸橋副会長	まずは、調査が先でしょうか。チョイスが増えるというのは賛成ですけどね。どこまで書き込むかですね。 「制服・持ち物等含め多様な選択肢ができるよう検討していただきたい」、という感じの言葉は入れてもいいかなと思いますね。どうでしょうか。
長田会長	制服のことにに関しては、5のところに追記として入れてもいいでしょうか。ご意見ありますでしょうか。
長田会長	ないようなので、5のところに追記していきたいと思います。
諸橋副会長	細かいところで、(2)(3)ですが、要望書といきなり出てきますが提言するときにこれでいいですか。きちんとした正式名称を入れたほうがいいですね。ただの要望書じゃわからないので。
事務局	はい。
諸橋副会長	例えば、公営住宅に入りやすくなるようにとか、病院で云々とかまでは書き込まなくていいですか。パートナーシップ証明みたいなものを出すか出さないかを書き込むかどうかということですね。そこまでしなくていいですか。どこまで我々は提案すればいいんでしょう。
長田会長	できるところから応じていく、と提言(3)のところには書いてあるんですが。
諸橋副会長	要望書には一通りのことは入っているということですね。ここで特出ししなくても、「要望書については」なのでいいですね。条例だろうが、制度だろうがそこまでは踏み込まずやっていく、というのが我々の提言で、要望書に書いてあるよということですね。(3)のところで活かしてもらっていいでしょうか。 もしくは、できるところから応じていくことが望ましいではなく、市としてもパートナーシップ証明等で実現してほしいところまで書き込むかですが。
長田会長	市は今、そのような動きがあるんですか。
事務局	今は一応、和光市だけでやるというよりは広域的にやった方が当然効果というのが上がるわけで、朝霞地区4市で足並みそろえて広域でやっていった方が効果が上がるのではないかなと話をしているところなんです。できれば現時点では、できるところからにさせていただけると、全然やっていないわけではないので、今後足並みそろえて固めていこうかなと考えています。
諸橋副会長	近隣で足並みそろえてというのは効果的ですね。話題性もあるだろうし、和光市だけの問題ではないと思いますしね。となると、できるところからということですね。
長田会長	ここはこのままでいいですかね。他にございますか。
諸橋副会長	(3)を一番最後に持っていくのはどうでしょう。(2)の要望書続きだからこのままがいいですか。
長田会長	要望書以外で審議会についてもこのことがでたという捉え方で大丈夫ですか。
諸橋副会長	それでいいですね。 あと、LGBTという用語でいいですか。SOGIにするか、SOGIだけじゃなくてEまで入るからSOGIEなのか、そこをどうしますか。
長田会長	要望書のほうには、レインボーさいたまの会さんのほうは、LGBTという言葉が入っていますね。

諸橋副会長	実際には、アセクシュアルがありクエスチョニングがあり、クィアありエックスジェンダーありで、どんどん出てきて、4文字だけだと私たちは入らないという人が絶対出てくるからね。
長田会長	おるご〜るにはSOGIがでてきますね。
諸橋副会長	一番包括的と言えば包括的ですけど、どうでしょうか。「など」となっていますからね。
長田会長	SOGIよりもまだLGBTのほうが認知されていますよね。
諸橋副会長	「など」でいいでしょうかね。
長田会長	ではこの表記のままでいきたいと思います。 事務局でまとめていただいて、案を作成していただきたいと思います。短い時間でしかご検討していただけませんでしたので、答申書について会議後にまだ意見等あれば、事務局にご連絡していただきたいと思います。 また、皆様に確認していただいたら市長に答申書を提出いたしますので、よろしくお願ひしたいと思います。 それでは、次第4のその他について、事務局からお願ひいたします。
事務局	次第4「その他」についてですが、来年度は第4次和光市行動計画男女共同参画わこうプランを策定する年となり、計画策定に当たり、多くの市民の考え等を把握し、行動計画の策定や今後の取り組みのための基礎調査とするため、8月に市民意識調査、9月に子ども意識調査を実施してまいりました。この会議においても、7月に開催した第1回目の会議において、調査票等を確認していただき、修正等を行ってまいりました。 調査からの課題の抽出等は、来年度の審議会において行ってまいりますが、ここで、速報版として、調査結果の報告書が上がってまいりましたので、時間をいただきまして少々説明をさせていただきたいと思います。 それでは、資料3「和光市男女共同参画に関する意識調査報告書（速報版）」をご覧ください。まだ固まっていないので、若干修正等ございますが、そちらを説明させていただきたいと思います。 説明につきましては、本調査の委託会社であります、サーベイリサーチセンターさん、斎藤さんと山川さんより報告をさせていただきます。 では、よろしくお願ひします。
	サーベイリサーチ（説明）
長田会長	ありがとうございました。 ただいまの報告について、ご質問等ありましたらお願ひします。
富澤委員	回収率が、小中学生は高いのですが、一般市民の回収率が34.8%です。これは当たり前なのですか。
サーベイリサーチ	そうですね。市民意識調査では、対象の方に郵送で発送した形なので、お忙しい方等はどうしてもご回答いただけないことが多いこともありまして、それに対して子ども意識調査では、学校にご協力いただいて、直接配布しその場で回答して回収していますので、どうしても回収率には差が出てしまいます。
富澤委員	テーマが男女共同参画というテーマではなくて、一般的な調査をしたときに、3割強というのは標準的な数値なんですか。

サーベイリサーチ	調査のジャンルによって回収率は変わってきてしまうのですが、高齢者を対象にした調査であれば、お時間にゆとりがあるところで返していただけることが多いのですが、今回市民意識調査は広く 20 代以上の男女を対象とさせていただいているので、回収率はこの程度になってしまうケースが多いです。
事務局	今回の調査は 8 月に行いましたが、この少し前に、総合振興計画の関係で市政に関する市民意識調査を行いました。それは 40%を少し超えたくらいでした。また、人権に限った調査を行いました。それは 35%くらいでした。テーマによって若干差がありますけれども、10 年前は 30%後半くらいでした。今回もう少し回答してくれるかなと思っていたのですが、結果としては低かったです。
諸橋副会長	35%は標準ですよ。これでいいというわけではないですけどね。
富澤委員	高齢者の調査を和光市で今進めているのですが、結構高いです。自分のことになると真面目に書くんですよ。ありがとうございます。
諸橋副会長	<p>子ども調査のところで、20 ページの 2 番、「性別役割意識を大人から注意された経験」のところで、これは誤解をされる見出しでして、性別役割意識を注意されたというのは、「女は女の子らしく、男は男の子らしく」というのを注意されたという風に読めるのかなと。むしろ親から性別役割を強制されたというニュアンスですよ。少し変えてもらった方がいいかなと思いました。意識ではなく性別役割についてですね。</p> <p>あと 28 ページの 5 番、「希望する将来の働き方」のところも、女性の働き方についての質問ですよ。男子の希望する働き方ではないですよ。男子は子供ができれば仕事を辞めるつもりだ、これも回答が違うと思います。女性の働き方について男子にも聞いたんですよ。なので、これもタイトルが違うのかな。女性の働き方についてどう思いますか、女子には希望する将来、男子には女子に対して希望する将来、ということで少し文言が違いますね。</p>
大澤委員	調査票を忘れてしまったのですが、その部分は、自分の働き方についてのことはなかったですか。
栗原委員	問 9 で、あなたは大きくなったらどのような仕事につきたいと思いますか、ということで、男性も女性も自分のこととして捉えて子どもは回答していると思うんですが。
サーベイリサーチ	今、ご指摘いただいた箇所なんですが、それぞれ小学生では問 9 であなたは将来どのような働き方をしたいですか、という設問になっておりまして、中学生では問 11 であなたは将来どのような働き方をしたいですかとなっております。
事務局	一点よろしいですか。第 1 回の審議会で配布させていただいた調査票なんですが、その後皆様からの修正がありまして、調査票を修正させていただいてます。その調査票を今回皆様にお渡しをしていないので、混乱を生じさせてしまっているのですが、今回修正した調査票につきましては、小学生に対して問 9 で「あなたは将来どのような働き方をしたいですか」と男女それぞれ自分のこととして答えていただいています。中学生に対しては、問 11 で「あなたは将来どのような働き方をしたいですか」と同じ質問をして答えてもらっています。
諸橋副会長	男子は自分のこととして答えているわけですね。
大澤委員	5 番の希望する将来の働き方は、女性の働き方ではなく自分の働き方でいいん

	ですね。
諸橋副会長	このタイトルは直さなくていいんだね。
大澤委員	この結果が面白いなと思って見ていたんですが、子どもができたからお休みをもらいながら仕事を続けたいと答えているのが、女子より男子の方が多いですね。女子は、子どもができたら仕事をやめて大きくなったら再び仕事をしたいというのが、小学生から中学生にかけて増えていて、そうすると女性が働くようにと進めている中で、子どもを産んだら仕事を辞めたいなっていう小学生中学生以上が思ったより少なく、大人の考えと違うんだなと思いました。
諸橋副会長	大人の結果を見ると、まあそうかなと、子どもの結果を見ると少し面白いですね。この速報版は全質問の回答が載っているんですか。
サーベイリサーチ	速報版なので、ないものもあります。今年度いっぱいまとめようと思っています。
栗原委員	要望ですが、今日の話し合いのまとめを送ってもらえると思うんですけど、調査票も一緒に送っていただけませんか。調査票とこちらのデータを照らし合わせて見ることができますのでよろしくお願いします。
諸橋副会長	最新の調査をいただきましょう。
長田会長	他にありませんでしょうか。なければこれで終わりにしたいと思います。ありがとうございました。それでは事務局お願いします。
事務局	では、最後に、今後の流れについてご説明いたします。 答申書について、その他追加する内容等ございましたら、受付したいと思えます。1月20日（月）までに事務局へご連絡をお願いします。修正等がありましたら、1月24日（金）までにお手元に届くよう、答申書案を送付させていただきます。 答申書案を皆様にご確認いただき、確定しましたら、審議会を代表して会長、副会長から市長へ答申書を2月13日（木）に提出していただくことを予定しています。3月には、事務局より、市役所全課を対象としました庁内連絡会議がありますので、その場で答申書を全課所等へ報告させていただく予定となっております。 なお、今年度の会議は、これで終了となります。委員の皆様の任期につきましても、この3月末で終了となります。皆様のこれまでのご協力に心から感謝いたします。
長田会長	それではこれで審議会終了となります。皆様お疲れ様でした。 今年度は、「多様な性について考える」をテーマに皆様と審議してきました。その中でDVDを見たり、和光市への具体的な要望書の内容を知ることで、市や市民、企業、地域ができることについて考えていく良い機会となったと思います。それについて、市への提言ができたことは和光市の男女共同参画を一步進めることに繋がったと思います。誰もが生きやすく、暮らしやすくなっていく和光のために提言するだけでなく、一人一人の理解と行動をしていくことがとても大事ななと思います。今年はオリンピック開催の年となりますので、会場市である和光市にいらっしやってくれる方々が、より気持ちよく過ごしていただけるような街になっていけたらいいなと思っています。

和光市の男女共同参画の推進については、私も何年か審議会に携わらせていただいているのですが、提言を施策に反映させていただいているのもたくさんありますので、この審議会が大切な役割を担っているというのをとても感じています。

2年間、微力ながら会長を務めさせていただき、皆様のおかげで無事終えることができました。改めてお礼を申し上げたいと思います。どうもありがとうございます。

それでは、これもちまして令和元年度和光市男女共同参画推進審議会を閉会いたします。どうもありがとうございました。